

看護のプロフェッショナリズムを共有するワークショップ NEWS LETTER

第22回 ワークショップの開催報告

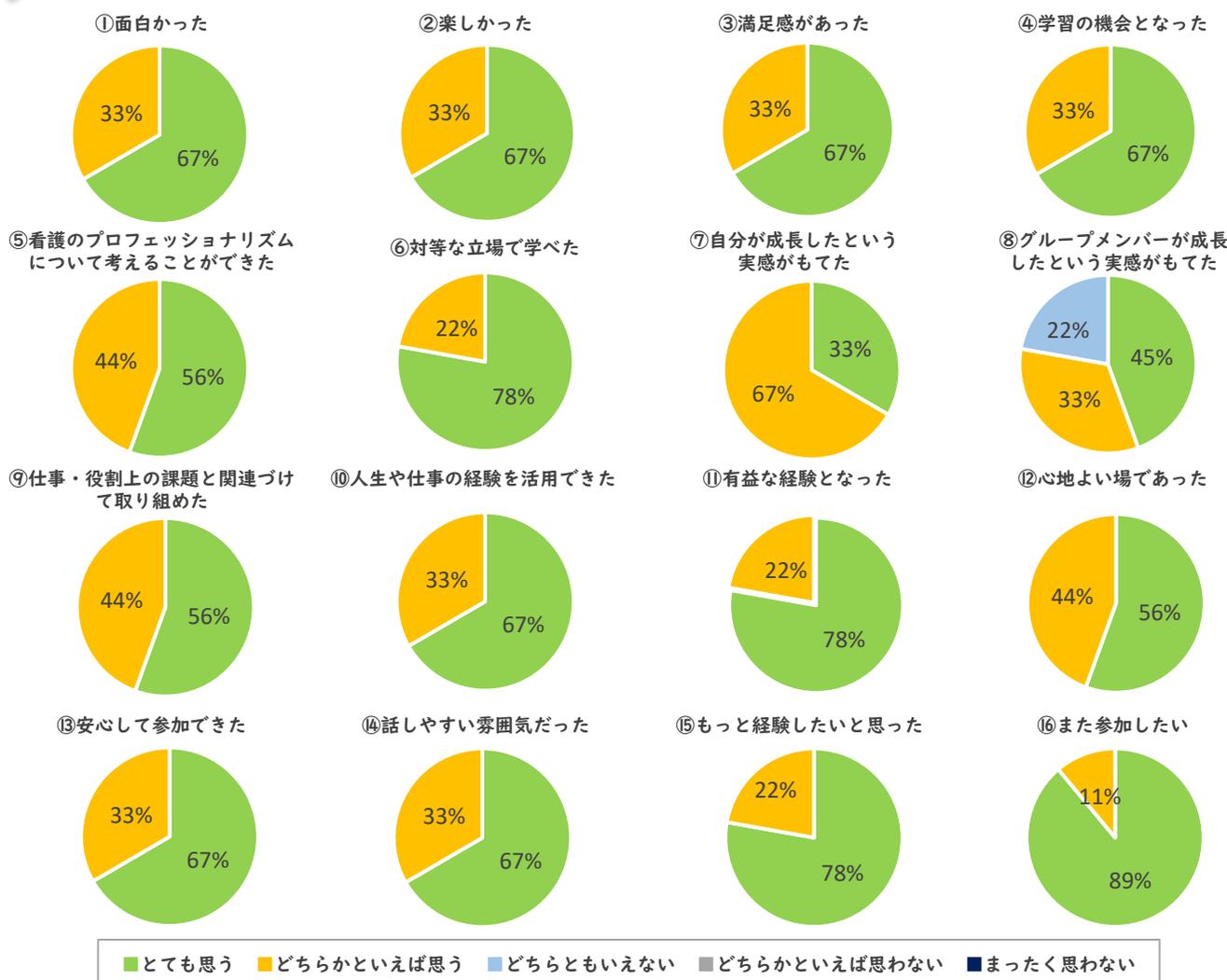
MMSC会場からのハイブリッド開催で、「プロフェッショナルとしての私のアイデンティティ」というテーマを話第としました。少し難しい内容ではありましたが、それなりに盛り上がり活発にディスカッションができたと思います。みなさんからも、改めて自分が大事にしていることを認識するよい機会になったという感想をいただきました。アンケートの設問では、「有益な経験となった」「また参加したい」と7割以上の方が回答してくださいました。

主催者代表 佐藤 政枝

開催日時：2024年5月10日（金）15:00-17:00

参加者：12名（看護職、大学教員、大学院生、学部生）

●ワークショップ後のアンケート結果（一部抜粋） 回答9名



自由記載で頂いた感想やご意見

- アイデンティティについて話していくなかで、これまで認識できていなかった自分の強みに2つも気がつくことができました。
- ちょうど自分のやりたいことや進みたい道がわからずに悩んでいたため、みなさんが最初からアイデンティティを持っていたわけではなく、いろいろな経験をする中で見つけていったことを知り、私も一歩ずつ頑張っていきたいと思うことができました。
- アイデンティティは、人や環境(outside)から相対的に、経験(inside)から絶対的に育まれるように思います。人に触れ続ける職である看護職として、今後のアイデンティティ形成が楽しみになりました。
- 皆さんとお話をするうちに、自分にも大切にしていることや譲れないものがあることに気づくことができ、何が自分のアイデンティティ形成に影響しているのか認識する良い機会となりました。

